

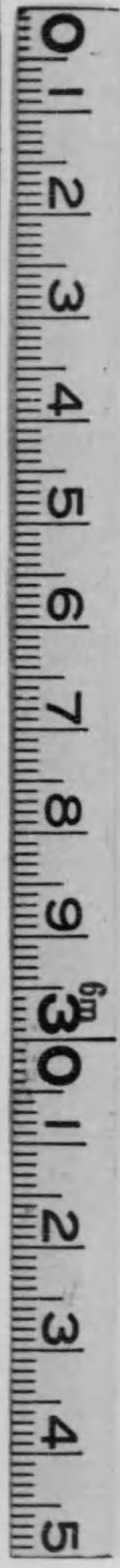
14.21

251

大正14年度 業務功程報告書

島根県種畜場

国立国会図書館



始



9-62

142  
251

大正  
十四年度

# 業務功程報告書

島根縣種畜場

大正十四年度島根縣種畜場業務功程報告書目次

第一章 總說

沿革 本場ハ明治四十年四月ノ創立ニシテ元  
 縣立農事試驗場ノ土地建物ノ引繼ヲ受ケ元  
 畜産巡回教師附屬種畜飼養場ノ家畜建造物  
 並ニ縣立農林學校ノ鶏舍ヲ移轉シ事業ヲ開  
 始セリ  
 位置 本場ハ八束郡乃木村大字福富ニ在リ縣  
 廳ヲ距ル約一里松江市ノ南西宍道湖畔ニ瀕  
 シ縣立農林學校ニ隣接ス而シテ山陰線松江  
 驛及湯町ノ中間ニ位置ス



第一項 主管事業  
 第二項 試驗事業

第二章 家畜

第一項 畜牛異動表  
 第二項 本場繫養畜牛表

第三項 用地  
 第四項 收入支出  
 第五項 講習講話  
 第六項 出張  
 第七項 參觀  
 第八項 文書取扱件數  
 第九項 職員

八八八八七 六六六五四三三二一一

大正  
 15. 9. 13  
 内交

大正十四年度島根縣種畜場業務功程報告書目次

第一章 總說

沿革 本場ハ明治四十年四月ノ創立ニシテ元  
 縣立農事試驗場ノ土地建物ノ引繼ヲ受ケ元  
 畜産巡回教師附屬種畜飼養場ノ家畜建造物  
 並ニ縣立農林學校ノ鶏舎ヲ移轉シ事業ヲ開  
 始セリ  
 位置 本場ハ八束郡乃木村大字福富ニ在リ縣  
 廳ヲ距ル約一里松江市ノ南西安道湖畔ニ瀕  
 シ縣立農林學校ニ隣接ス而シテ山陰線松江  
 驛及湯町ノ中間ニ位置ス



第一項	畜	第一項	主管事業
第二項	畜牛異動表	第二項	試驗事業
第三項	本場繁養畜牛異動表	第三項	用地
第四項	貸與種牡牛異動表	第四項	收入支出
第五項	本場繁養畜牛表	第五項	講習講話
第六項		第六項	出張
第七項		第七項	參觀
第八項		第八項	文書取扱件數
第九項		第九項	職員
第十項		第十項	家畜

八八八八七 六六六五四三三二一一

大正  
 15. 9. 13  
 内交

第三	本年度購入候補種牛明細表	一九
第四	本年度生產種牛明細表	一一
第五	本年度貸與種牛明細表	一一
第六	貸與種牡牛異動明細表	一二
第七	貸與種牡牛現在表	一三
第八	種牡牛蕃殖成績表	一八
	本場繫養蕃殖成績表	一八
	貸與種牡牛蕃殖成績表	一八
第九	泌乳成績表	二四
第十	飼養管理	二五
一、飼養法		二五
二、管理法		二七
第一項 患畜		三一
第二項 家畜病院		三一
第三項 養豚		三一
第一 種豚現在表		三一
第二 豚生產表		三二
第三 豚拂下頭數別表		三二
第四 餘勢種付表		三三
第五 豚ノ飼養管理		三三

一、飼養法		三三
二、管理法		三四
第三項 家畜		三四
第一 家禽現在表		三五
第二 家禽飼料		三五
一、成禽及雛飼料表		三五
二、成禽飼料一例		三五
三、鷺		三五
四、雛飼料一例		三六
第三 家禽產卵調		三六
一、產卵數量		三六
二、產卵重量		三七
第四 種禽種卵拂下		三八
一、拂下郡別表		三八
二、拂下種別表		三八
第三章 圃場		三八
第一項 作付反別		三八
第二項 栽培牧草種類		三九
第三項 一般施肥		三九
第四項 栽培法		四〇

三

二

第一	芻草栽培法	四〇
第二	芻草收穫成績表	四二
第三	穀菽類栽培法	四三
第四	蔬菜類栽培法	四五
第五項	牧草種子配布	四七
第六項	生草埋藏	四七
第四章	豚肉加工試驗	
第五章	衛生	

大正十四年度業務功程報告書(第十八回) 島根縣種畜場

第一章 總說

第一項 事業

第一、主管事業

種牛	蕃殖	育成	配付	種付
種馬	全	全	全	全
種豚	全	全	全	全
種禽	全	全	全	全
牧草栽培	種子配付			
講習講話	養成			
畜產技術傳習	第二、試驗事業			
家畜飼養試驗	肉牛肥養試驗	乳牛ニ關スル試驗	豚肥養試驗	家禽飼養試驗
飼料ノ經濟的試驗	特異飼料試驗			

家畜蕃殖試驗  
 家畜ノ改良上種類適否試驗  
 交叉蕃殖試驗  
 牧草試驗  
 種類試驗  
 播種收穫試驗  
 牧、野草貯藏試驗  
 種類ノ適否試驗  
 酪農製肉試驗  
 牛酪製造試驗  
 煉乳製造試驗  
 燻腿其他試驗

**第二項 用地**

一、用地面積  
 四町七反參畝貳拾七步參合  
 內  
 建築敷地 貳反〇貳拾參步  
 牧草及蔬菜地 貳町壹反七畝貳拾壹步七合(內借入地參反壹畝拾四步七合)  
 周圍井手敷地 壹反四畝九步  
 家畜家禽運動場 參反貳畝六步(內借入地貳畝步)  
 農林學校運動場 六反步

全 桑 園 五反參畝步  
 通路 其他 七反貳畝貳拾七步六合

**第三項 建築物**

種 別	坪 數	種 別	坪 數	種 別	坪 數
事務所	四一・五〇	倉庫	二四・〇〇	倉庫	一五・〇〇
第一號事務所	四〇・〇〇	第一號倉庫	二一・二五	第一號倉庫	一九・〇〇
第二號事務所	三六・〇〇	第二號倉庫	一一・〇〇	第二號倉庫	一三・七五
第一號厩舍	三五・〇〇	第一號厩舍(附屬)	二二・〇〇	第一號厩舍	一〇・〇〇
第二號厩舍	一七・〇〇	第二號厩舍(附屬)	二七・五〇	第二號厩舍	一〇・〇〇
家畜飼料調理室	一七・〇〇	酪農舍(二階建)	五二・五〇	酪農舍	一〇・〇〇
廊下	一一・〇〇	製乳所	一〇・〇〇	製乳所	七・五〇
釜場及小使室	一七・五〇	製肉所	一九・五〇	製肉所	一〇・〇〇
便所	四〇・〇〇	計		計	
第四號厩舍	二五・〇〇	第一號厩舍	二〇・〇〇	第一號厩舍	一五・二五
		家畜飼料調理室	四〇・〇〇	家畜飼料調理室	一〇・〇〇
		第一號厩舍	二〇・〇〇	第一號厩舍	一五・二五

**第四項 收入支出**

種 別	目	大 正 十 四 年 度
歲 經	第十一款 雜收入	一、六八八・六五〇
	第二項 賠償及償却金	七・〇二〇
	第一目 賠償及償却金	七・〇二〇
	第三項 占用及使用料	五五〇・〇〇〇

出 歳		入		
部 常 經		計 會 別 特	部 常	
	第十二款 勸業費	第四款 財產賣拂代	第一款 縣吏員職員恩給金	
	第六項 種畜場費	第一項 不動產收入	第一項 納金	第五項 物品賣拂代
第一目 俸		第二目 建物賣拂代	第一目 納金	第四目 家畜使用料
第二目 雜				第一目 生產物賣拂代
第三目 場				第三目 不用品賣拂代
第四目 修繕費				
	給給			
				五五〇〇〇〇
				一、一三一・六三〇
				一、〇八九・二九〇
				四二・三四〇
				六〇・五九〇
				六〇・五九〇
				六〇・五九〇
				七二・〇〇〇
				七二・〇〇〇
				七二・〇〇〇
				三、〇五四・九六〇
				三、〇五四・九六〇
				六、〇六三・八三〇
				七、〇六六・一六〇
				一七、四八八・九八〇
				四三五・九九〇

第五項 講習講話

養 養	區	分	回 數	日 數	人 員
鷄 豚	八 東 郡	賀 郡	一	一	一
	三 二 郡	美 郡	一	一	一
	二 郡	濃 郡	二	二	二
	七 二 郡	遷 郡	三	三	三
	九 一 四 二 郡	安 郡	一	一	一
	三 郡	濃 郡	三	三	三
	七 六 郡				

第二項 講習講話

養 養	區	分	回 數	日 數	人 員
鷄 豚	一 郡		一	一	一
	二 郡		二	二	二
	六 〇 郡		二	二	二
	四 郡		四	四	四
	九 二 郡		一	一	一
	三 郡		三	三	三
	八 〇 郡		一	一	一
	一 郡		一	一	一
	三 郡		三	三	三
	四 五 郡				

第六項 出張

出 張	區 別	回 數	日 數	人 員
	安 濃 郡	一	一	一
	色 智 郡	一	一	一
	那 賀 郡	三	三	三
	美 濃 郡	二	二	二
	鹿 足 郡	一	一	一
	隱 岐 郡	一	一	一



區	別	人員	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	計
講	會	及													
共	進	視													
畜	產	視													
養	馬、	視													
飼	料	視													
主	任	會													
乳	牛	會													
共	進	會													
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>一〇三</span> <span>〇四</span> <span>〇七</span> <span>一三</span> <span>一八</span> <span>二二</span> <span>二五</span> <span>二九</span> <span>三三</span> <span>三六</span> <span>四〇</span> <span>四四</span> <span>四七</span> <span>五一</span> <span>五五</span> <span>五九</span> </div>															

### 第七項 參觀人

### 第八項 文書取扱件數

種	別	數	受	發	送	計
件	數	一九七二			一七六六	三七三八

### 第九項 職員

就職年月日	摘	要	職名	氏名
大正六年十月八日	島根縣地方農林技師	島根縣地方農林技師、島根縣地方農林技師	場長技師	長谷川半七
全十四年五月轉	島根縣地方農林技師	島根縣立松江農林學校講師	技師	岩朝庄作

全	十一年四月一日	島根縣地方農林技師	全	伊藤清右衛門
全	十四年六月卅日	島根縣立松江農林學校教諭	全	疋田徳次
全	八年三月卅一日	島根縣技師、島根縣農林技師	技	長谷川久治郎
全	九年十一月八日	島根縣立松江農林學校畜産技術教師	全	山谷映三
全	二年三月卅一日	島根縣農林技師	全	山井
全	十三年七月卅一日	島根縣立松江農林學校畜産技術教師	主事補	永岡正夫

## 第二章 家畜

### 第一項 畜牛

本年度ニ於テ實施シタル要領左ノ如シ

一、種畜ノ購入

改良和種候補種牡牛トシテ本縣内生産優良種牡牝二十六頭ヲ購入シ又ホルスタインフリーシヤン種一頭ヲ北海道ヨリ購入セリ

一、候補種牡牛二十六頭ヲ育成シ縣下十三郡畜産組合ヘ貸與セリ

一、乳用種ノ蕃殖  
前年度ニ於テ購入セルホルスタインフリーシヤン種牡牛ハ場内種牝牛ニ種付ヲ行ヒ其餘勢ヲ以テ民間ノ牝牛ニ種付セリ

一、貸與種牡牛ノ無償下付

貸與種牡牛中貸與期間満了シ其飼育管理良好ナルモノハ之ヲ借受畜産組合ヘ無償下付ヲ行ヒタリ

一、乳肉製品ノ製造

本場生産牛乳ヲ以テ「バター」ノ製造ヲ行ヒ又本場生産豚ヲ以テ豚肉加工品ノ製造ヲ行ヒ松江農林學  
 校生徒及當業者ニ技術ノ傳習ヲ行ヒタリ

第一 畜牛異動表

(イ) 本場繁養畜牛異動表

種	前年度末現在	本年購入	本年生産	本年計	無償下付	返納	年度末現在
ホルスタイン	四	一	二	二	七	二	七
改良種	九	二	二	三	五	二	九
計	一三	二七	二	二	一二	二六	一六

(ロ) 貸與種牝牛異動表

種	前年度末現在	本年度貸付	計	無償下付	返納	年度末現在
島根デグオン種	一	一	一	一	一	一
ホルスタイン	一	一	一	一	一	一
改良種	一〇	二	一二	一	一	一〇
計	一〇	二六	一三	一七	一	一五

第二 本場繁養畜牛表

(大正十五年三月末調)

種	名	號	性	毛色	生年月日	血統	体高	体重	産地
ホルスタイン	クリスター、マツキンリ	一	牝	黒白斑	大正一一、八、一五	父バプスト、タリスター、 母タムビル、スピンタイド	一八七	三三	北海道札幌市 北海乳務株式會社
フリーシヤン種	メクシルド、ユ、エ、オ	二	牝	黒白斑	一一、九、六	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	一七〇	三三	北海道札幌市 北海乳務株式會社
改良種	ホルンゲン、アルカート	三	牝	黒白斑	一二、七、九	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	一七〇	三三	北海道札幌市 北海乳務株式會社
計	クリスター、メーシジユ	四	牝	黒白斑	一三、七、一八	父バプスト、タリスター、 母タムビル、スピンタイド	一七〇	三三	北海道札幌市 北海乳務株式會社

第三 本年度購入候補種牛明細表  
 本年度ニ於テ購入セル畜牛ハ改良和種牝牛二十六頭、ホルスタインフリーシヤン種牝牛一頭合計二十七頭ニシテ表示セバ左ノ如シ

種	名	號	性	毛色	生年月日	血統	産地	購入年月
ホルスタイン	クリスター、メ	一	牝	黒白斑	一三、七、一八	父バプスト、タリスター、 母タムビル、スピンタイド	北海道札幌市 北海乳務株式會社 輕川農場	一四、六、二二
改良種	クリスター、メクシルド	二	牝	黒白斑	一四、三、一〇	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	北海道札幌市 北海乳務株式會社	
改良種	クリスター、メクシルド	三	牝	黒白斑	一四、三、一〇	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	北海道札幌市 北海乳務株式會社	
改良種	クリスター、メクシルド	四	牝	黒白斑	一四、三、一〇	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	北海道札幌市 北海乳務株式會社	
改良種	クリスター、メクシルド	五	牝	黒白斑	一四、三、一〇	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	北海道札幌市 北海乳務株式會社	
改良種	クリスター、メクシルド	六	牝	黒白斑	一四、三、一〇	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	北海道札幌市 北海乳務株式會社	
改良種	クリスター、メクシルド	七	牝	黒白斑	一四、三、一〇	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	北海道札幌市 北海乳務株式會社	
改良種	クリスター、メクシルド	八	牝	黒白斑	一四、三、一〇	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	北海道札幌市 北海乳務株式會社	
改良種	クリスター、メクシルド	九	牝	黒白斑	一四、三、一〇	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	北海道札幌市 北海乳務株式會社	
改良種	クリスター、メクシルド	一〇	牝	黒白斑	一四、三、一〇	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	北海道札幌市 北海乳務株式會社	
改良種	クリスター、メクシルド	一一	牝	黒白斑	一四、三、一〇	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	北海道札幌市 北海乳務株式會社	
改良種	クリスター、メクシルド	一二	牝	黒白斑	一四、三、一〇	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	北海道札幌市 北海乳務株式會社	
改良種	クリスター、メクシルド	一三	牝	黒白斑	一四、三、一〇	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	北海道札幌市 北海乳務株式會社	
改良種	クリスター、メクシルド	一四	牝	黒白斑	一四、三、一〇	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	北海道札幌市 北海乳務株式會社	
改良種	クリスター、メクシルド	一五	牝	黒白斑	一四、三、一〇	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	北海道札幌市 北海乳務株式會社	
改良種	クリスター、メクシルド	一六	牝	黒白斑	一四、三、一〇	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	北海道札幌市 北海乳務株式會社	
改良種	クリスター、メクシルド	一七	牝	黒白斑	一四、三、一〇	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	北海道札幌市 北海乳務株式會社	
改良種	クリスター、メクシルド	一八	牝	黒白斑	一四、三、一〇	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	北海道札幌市 北海乳務株式會社	
改良種	クリスター、メクシルド	一九	牝	黒白斑	一四、三、一〇	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	北海道札幌市 北海乳務株式會社	
改良種	クリスター、メクシルド	二〇	牝	黒白斑	一四、三、一〇	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	北海道札幌市 北海乳務株式會社	
改良種	クリスター、メクシルド	二一	牝	黒白斑	一四、三、一〇	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	北海道札幌市 北海乳務株式會社	
改良種	クリスター、メクシルド	二二	牝	黒白斑	一四、三、一〇	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	北海道札幌市 北海乳務株式會社	
改良種	クリスター、メクシルド	二三	牝	黒白斑	一四、三、一〇	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	北海道札幌市 北海乳務株式會社	
改良種	クリスター、メクシルド	二四	牝	黒白斑	一四、三、一〇	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	北海道札幌市 北海乳務株式會社	
改良種	クリスター、メクシルド	二五	牝	黒白斑	一四、三、一〇	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	北海道札幌市 北海乳務株式會社	
改良種	クリスター、メクシルド	二六	牝	黒白斑	一四、三、一〇	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	北海道札幌市 北海乳務株式會社	
改良種	クリスター、メクシルド	二七	牝	黒白斑	一四、三、一〇	父タムビル、スピンタイド 母タリスター、マツキンリ	北海道札幌市 北海乳務株式會社	

種	類	名	號	性	毛色	生	年	月	日	産	地	貸	與	年	月	日	貸	與	畜	産	組	合	名																																																																																																
全	全	玉	榮	須	武	鳥	竹	全	全	全	全	大正	一、二、七、六	仁多郡	島上村	一、四、五、一〇	陸岐畜産組合							全	全	仙	森	濱	原	竹	全	全	全	全	全	大正	一、一、〇、二五	鹿足郡	小川村	一、四、五、二五	陸岐畜産組合							全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、三、一、一三	能義郡	赤屋村	一、四、五、二五	陸岐畜産組合							全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、二、六、一三	仁多郡	島上村	一、四、六、一	陸岐畜産組合							全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、三、二、一	能義郡	山佐村	一、四、七、一	陸岐畜産組合						
全	全	仙	森	濱	原	竹	全	全	全	全	全	大正	一、一、〇、二五	鹿足郡	小川村	一、四、五、二五	陸岐畜産組合							全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、三、一、一三	能義郡	赤屋村	一、四、五、二五	陸岐畜産組合							全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、二、六、一三	仁多郡	島上村	一、四、六、一	陸岐畜産組合							全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、三、二、一	能義郡	山佐村	一、四、七、一	陸岐畜産組合																														
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、三、一、一三	能義郡	赤屋村	一、四、五、二五	陸岐畜産組合							全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、二、六、一三	仁多郡	島上村	一、四、六、一	陸岐畜産組合							全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、三、二、一	能義郡	山佐村	一、四、七、一	陸岐畜産組合																																																						
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、二、六、一三	仁多郡	島上村	一、四、六、一	陸岐畜産組合							全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、三、二、一	能義郡	山佐村	一、四、七、一	陸岐畜産組合																																																																														
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、三、二、一	能義郡	山佐村	一、四、七、一	陸岐畜産組合																																																																																																						

第五 本年度貸與種牛明細表

種	類	名	號	性	毛色	生	年	月	日	産	地	貸	與	年	月	日	貸	與	畜	産	組	合	名																																																																																																																																																																								
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、一、五、一、一、二	父クリスター、マツキンリ	同	同	同	同	同	同	同	同	同	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、一、五、三、一、七	母クリスター、マツキンリ	同	同	同	同	同	同	同	同	同															父クリスター、マツキンリ																								母クリスター、マツキンリ																								父クリスター、マツキンリ																								母クリスター、マツキンリ																								父クリスター、マツキンリ																								母クリスター、マツキンリ									
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、一、五、三、一、七	母クリスター、マツキンリ	同	同	同	同	同	同	同	同	同															父クリスター、マツキンリ																								母クリスター、マツキンリ																								父クリスター、マツキンリ																								母クリスター、マツキンリ																								父クリスター、マツキンリ																								母クリスター、マツキンリ																																	
														父クリスター、マツキンリ																								母クリスター、マツキンリ																								父クリスター、マツキンリ																								母クリスター、マツキンリ																								父クリスター、マツキンリ																								母クリスター、マツキンリ																																																									
														母クリスター、マツキンリ																								父クリスター、マツキンリ																								母クリスター、マツキンリ																								父クリスター、マツキンリ																								母クリスター、マツキンリ																																																																																	
														父クリスター、マツキンリ																								母クリスター、マツキンリ																								父クリスター、マツキンリ																								母クリスター、マツキンリ																																																																																																									
														母クリスター、マツキンリ																								父クリスター、マツキンリ																								母クリスター、マツキンリ																																																																																																																																	
														父クリスター、マツキンリ																								母クリスター、マツキンリ																																																																																																																																																									
														母クリスター、マツキンリ																																																																																																																																																																																	

本年度ニ於テ生産セル畜牛ハ左記ニ頭ナリトス

第四 本年度生産種牛明細表

種	類	名	號	性	毛色	生	年	月	日	産	地	貸	與	年	月	日	貸	與	畜	産	組	合	名																																																																																																																								
全	全	第	二	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、一、五、一、一、二	父クリスター、マツキンリ	同	同	同	同	同	同	同	同	同	全	全	第	二	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、一、五、三、一、七	母クリスター、マツキンリ	同	同	同	同	同	同	同	同	同	全	全	第	二	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、一、五、一、一、二	父クリスター、マツキンリ	同	同	同	同	同	同	同	同	同	全	全	第	二	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、一、五、三、一、七	母クリスター、マツキンリ	同	同	同	同	同	同	同	同	同	全	全	第	二	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、一、五、一、一、二	父クリスター、マツキンリ	同	同	同	同	同	同	同	同	同	全	全	第	二	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、一、五、三、一、七	母クリスター、マツキンリ	同	同	同	同	同	同	同	同	同
全	全	第	二	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、一、五、三、一、七	母クリスター、マツキンリ	同	同	同	同	同	同	同	同	同	全	全	第	二	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、一、五、一、一、二	父クリスター、マツキンリ	同	同	同	同	同	同	同	同	同	全	全	第	二	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、一、五、三、一、七	母クリスター、マツキンリ	同	同	同	同	同	同	同	同	同	全	全	第	二	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、一、五、一、一、二	父クリスター、マツキンリ	同	同	同	同	同	同	同	同	同	全	全	第	二	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、一、五、三、一、七	母クリスター、マツキンリ	同	同	同	同	同	同	同	同	同																								
全	全	第	二	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、一、五、一、一、二	父クリスター、マツキンリ	同	同	同	同	同	同	同	同	同	全	全	第	二	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、一、五、三、一、七	母クリスター、マツキンリ	同	同	同	同	同	同	同	同	同	全	全	第	二	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、一、五、一、一、二	父クリスター、マツキンリ	同	同	同	同	同	同	同	同	同	全	全	第	二	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、一、五、三、一、七	母クリスター、マツキンリ	同	同	同	同	同	同	同	同	同																																																
全	全	第	二	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、一、五、三、一、七	母クリスター、マツキンリ	同	同	同	同	同	同	同	同	同	全	全	第	二	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、一、五、一、一、二	父クリスター、マツキンリ	同	同	同	同	同	同	同	同	同	全	全	第	二	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、一、五、三、一、七	母クリスター、マツキンリ	同	同	同	同	同	同	同	同	同																																																																								
全	全	第	二	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、一、五、一、一、二	父クリスター、マツキンリ	同	同	同	同	同	同	同	同	同	全	全	第	二	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、一、五、三、一、七	母クリスター、マツキンリ	同	同	同	同	同	同	同	同	同																																																																																																
全	全	第	二	全	全	全	全	全	全	全	全	大正	一、一、五、三、一、七	母クリスター、マツキンリ	同	同	同	同	同	同	同	同	同																																																																																																																								

貸與畜産組合名	種	類	名	號	毛色	生	年	月	日	貸	與	年	月	日	貸	與	期
八東郡畜産組合	全	全	赤	誠	全	一〇・二・二六	大正	一〇	三	二	三	一	五	二	四	四	夕
全	全	全	米	全	全	九・九・二八	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	全	高	全	全	九・四・一二	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	全	大	全	全	九・三・三〇	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	全	大	全	全	八・五・一六	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	全	柿	全	全	九・四・一五	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	全	大	全	全	九・六・一〇	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	全	清	全	全	九・三・一五	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	全	機	全	全	一〇・二・二五	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	全	第六	全	全	九・四・一五	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	全	第二	全	全	八・一・〇三	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	全	井	全	全	八・五・一八	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	全	大	全	全	八・五・一八	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	全	赤	全	全	九・五・二〇	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	全	川	全	全	九・三・二〇	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	全	美	全	全	九・二・二五	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	全	川	全	全	九・三・二〇	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	全	上	全	全	九・三・二〇	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	全	山	全	全	九・三・二〇	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全

第七 貸與種牡牛現在表 (大正十五年三月末日現在)

種	類	名	號	性	毛色	生	年	月	日	貸	與	畜	産	組	合	備	考
全	全	振	全	全	全	一三、六、一五	大正	一三	六	一	五	八	東	郡	畜	産	組
全	全	山	全	全	全	一三、一、二五	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	興	全	全	全	一三、四、二〇	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	井	全	全	全	一三、四、一五	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	山	全	全	全	一三、四、一五	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	根	全	全	全	一三、五、四	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	安	全	全	全	一三、五、四	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	秀	全	全	全	一三、五、四	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	勢	全	全	全	一三、四、五	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	布	全	全	全	一三、六、二五	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	田	全	全	全	一三、一、一六	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	龍	全	全	全	一三、一、一六	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	雲	全	全	全	一三、三、三	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	巴	全	全	全	一三、三、三	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	山	全	全	全	一三、五、二〇	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	龜	全	全	全	一三、五、二〇	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	運	全	全	全	一三、七、一三	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	星	全	全	全	一三、七、一三	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	川	全	全	全	一三、六、一三	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	山	全	全	全	一三、一、二	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	松	全	全	全	一三、三、一	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	中	全	全	全	一三、三、一	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	喜	全	全	全	一三、三、一	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	開	全	全	全	一三、一、二	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	多	全	全	全	一三、七、一三	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	遠	全	全	全	一三、五、二〇	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	第	全	全	全	一三、五、二〇	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	瑞	全	全	全	一三、五、二〇	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	旭	全	全	全	一三、三、三	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	玉	全	全	全	一三、三、三	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	第	全	全	全	一三、一、一六	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	布	全	全	全	一三、一、一六	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	第	全	全	全	一三、七、一	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	伊	全	全	全	一三、七、一	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	藤	全	全	全	一三、九、	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	第	全	全	全	一三、一〇	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	湯	全	全	全	一三、八、七	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	第	全	全	全	一三、八、七	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全
全	全	森	全	全	全	一三、八、七	全	一	一	一	五	二	三	三	〇	全	全

第六 貸與種牡牛異動明細表





第八 種牡牛蕃殖成績表

(イ) 本場繁養種牡牛蕃殖成績表

種	類	種名	種付頭數	受胎頭數	受胎率	種付回数	受胎途ニ要 セシ平均種 付回数
全	改	ホルスタインフリーシ ヤン種 和種 種	五五 一一	五三 一一	九六、三% 〇〇、〇〇	七三 一一	一、三強 一〇、〇

(ロ) 貸與種牡牛蕃殖成績表  
自大正十三年一月  
至全十二月

貸與畜産組合名	種類	種名	種付頭數	本年中種付頭數	本年	中	分	牝	計
八東郡畜産組合	改良和種	山福赤瑞東安米神豐福嵐	二〇 四〇 四〇 三〇 三〇 三〇 三〇 三〇 三〇 三〇	二〇 四〇 四〇 三〇 三〇 三〇 三〇 三〇 三〇 三〇	五 四 一 一 四 一 一 一 一 一	五 四 一 一 四 一 一 一 一 一	五 四 一 一 四 一 一 一 一 一	五 四 一 一 四 一 一 一 一 一	二 四 一 一 四 一 一 一 一 一

能義郡畜産組合	種名	種付頭數	受胎頭數	受胎率	種付回数	受胎途ニ要 セシ平均種 付回数
全	テゾオン種	七〇	五九	八四、三%	一一	一〇、〇
全	星七	一〇	七	七〇%	一一	一〇、〇
全	遠十九	一〇	七	七〇%	一一	一〇、〇
全	玉錦	一〇	七	七〇%	一一	一〇、〇
全	旭井	一〇	七	七〇%	一一	一〇、〇
全	井第五	一〇	七	七〇%	一一	一〇、〇
全	第六	一〇	七	七〇%	一一	一〇、〇
全	豐玉	一〇	七	七〇%	一一	一〇、〇
全	第四	一〇	七	七〇%	一一	一〇、〇
全	藤森	一〇	七	七〇%	一一	一〇、〇
全	第五	一〇	七	七〇%	一一	一〇、〇
全	美森	一〇	七	七〇%	一一	一〇、〇
全	第二	一〇	七	七〇%	一一	一〇、〇
全	比雲	一〇	七	七〇%	一一	一〇、〇
全	實和	一〇	七	七〇%	一一	一〇、〇
全	清山	一〇	七	七〇%	一一	一〇、〇







月	次	泌乳日數	泌乳總量	備	考
十五ヶ月	一	四、〇〇	一、一五	五、六三	〇
十六ヶ月	一	四、〇〇	一、二〇	五、七五	一、四〇
十七ヶ月	一	四、三三	一、二〇	五、八五	一、四〇
十八ヶ月	一	四、二七	一、二〇	五、九三	一、四〇
十九ヶ月	一	四、三〇	一、二〇	六、〇五	一、四〇

第九 泌乳成績表

本年度ニ於テ搾乳セル畜牛頭數ハ左記一頭ニシテ泌乳成績左ノ如シ

(イ)種類ホルスタインフリーシヤン種メクシルド、ユ、エ、オームスビー號大正十一年九月六日生

産次 初産 大正十三年十二月十六日分娩

月	次	泌乳日數	泌乳總量	備	考
自大正十三年十二月廿一日至全	三月三十一日	九九日	三八七〇 <sup>封度</sup> ・七		
全	四	三〇	七六九〇		
全	五	三一	七五一〇		
全	六	三〇	七〇九五		
全	七	三一	五九〇〇		
全	八	三一	五二七五		
全	九	三〇	四六三〇		
全	十	三一	四一六五		
全	十一	三一	二八二五		
全	十二	三一	一三五〇		
合	計	三五七	八五一四・七		

(ロ)種類ホルスタインフリーシヤン種ホリンゲン、アルカートラ號大正十二年七月九日

産次 二産 大正十五年三月十七日分娩

月	次	泌乳日數	泌乳總量	備	考
大正十五年三月	一五日		七三九封度		

第十 飼養管理

一、飼養法

餌飼料ハ「ケルネル」氏飼養標準ニ基キテ給與量ヲ定メ季節、畜牛ノ個体、營養状態、嗜好等ニ鑑ミ適宜斟酌加減シテ適應量ヲ給與ス  
飼料ノ給與時間ハ時季ニ依リ異ナルモ普通朝飼ハ午前六時半、晝飼ハ午前十一時半、夕飼ハ午後五時ヲ標準トス而シテ夜飼ヒシテ夏季ハ青草、冬期ハ乾草ヲ給與セリ  
今飼料給與例ヲ示セバ左ノ如シ

飼料標準日量表

(イ)改良和種候補種牝牛冬期飼料表

種別	大	小	米	糠	大豆粕	切	藁	野乾草	食鹽
六ヶ月以上十二ヶ月以下	二七〇	四五〇	一〇〇	一〇〇	三〇〇	一〇〇	一〇〇	一、〇〇〇	三
十二ヶ月以上十八ヶ月以下	二七〇	四五〇	一〇〇	一〇〇	三〇〇	一〇〇	一〇〇	一、〇〇〇	三
十八ヶ月以上廿四ヶ月以下	四〇〇	四五〇	一〇〇	一〇〇	三〇〇	一〇〇	一〇〇	一、〇〇〇	三

(ロ) 改良和種候補種牡牛飼料表

種別	小麥	大豆	生草	切草	大豆粕	鹽
六ヶ月以上十二ヶ月以下	450	300	7,000	3,000	300	200
十二ヶ月以上十八ヶ月以下	550	300	8,000	3,000	300	200
十八ヶ月以上廿四ヶ月以下	550	300	9,000	3,000	300	200

(ハ) 乳用種冬期飼料

種別	乾牧草	埋草	碎大麥	大豆粕	玉蜀黍
六ヶ月以下	1,000	1,000	1,500	1,500	1,000
六ヶ月以上十二ヶ月以下	1,000	1,000	2,000	1,500	1,000
十二ヶ月以上十八ヶ月以下	1,000	1,000	2,000	1,500	1,000
種牡	1,500	1,500	2,000	1,500	1,000
乳牛	1,500	1,500	2,000	1,500	1,000

碎大麥四封度、大豆粕九封度ノ割合ニ給與ス  
玉蜀黍一四封度、大豆粕一四封度ノ割合ニ給與ス

(ニ) 乳用種夏季飼料

種別	生草	碎大麥	小麥	大豆粕
六ヶ月以下	1,500	100	350	350
六ヶ月以上十二ヶ月以下	1,500	100	350	350
十二ヶ月以上十八ヶ月以下	1,500	100	350	350
種牡	1,500	100	350	350
乳牛	1,500	100	350	350

碎大麥四封度、大豆粕九封度ノ割合ニ給與ス  
合シ乳汁三封度ニ付一封度ノ割合ニ給與ス

哺乳

犢牛ハ生産後直チニ母牛ヨリ分離シ人口哺乳ニテ哺育セリ

哺乳標準表

性	牛乳	第一週	第二週	第三週	第四週	第二ヶ月	第三ヶ月	第四ヶ月	第五ヶ月	第六ヶ月
牝	全乳	10	13	10	8	36	10	8	10	10
牡	全乳	10	13	10	8	36	10	8	10	10

二、管理法

- 一 牛舎ハ毎日掃除ヲ行ヒ汚染セル藁草ヲ除去シ且ツ乾燥セル藁草ヲ補給シ空氣ノ流通及日光ノ注入ヲ計リ清潔ナラシム
- 一 牛舎及飼桶等ハ汚染ノ都度良ク洗滌シ毎月一回以上大清潔法ヲ行フ
- 一 畜牛ニ毎日叮嚀ニ梳拭シ雨雪ノ日ヲ除キ午前ハ運動場ニテ自由ニ運動セシメ午後ニ於テ牽運動ヲ行フ
- 一 割蹄ハ時々之ヲ行ヒ肢勞及蹄形ヲ矯正ス
- 一 搾乳ハ一日二回乃至三回トナスモ多乳ノ期間ハ四回ニ搾乳ス

第四章 豚肉加工試験

加工試験ニ供用セルハ豚「ヨークシャー」種制豚及ビ「バークレヤ」種制豚ノ二頭ニシテ生年月体重等左ノ如シ

名	種	類	性	生	年	月	日	體	重

第一號	「パークシャー」	種	一四、六、二〇
第二號	「ヨークシャー」	全	一四、三、一六
		制	一九、〇〇〇
			二六、五〇〇

屠殺準備

屠殺前二十四時間ノ絶食ヲ行ヒ此間唯清水ヲ給シ静カナル所ニ休養セリ

屠殺

豚ヲシテ喧騒セシメザル様静カニ屠所ニ導キ後肢ニ綱ヲ結ビ付ケ迅速ニ倒サマニ懸吊シ銳利ナル解剖刀ヲ用ヒテ心臟ヲ刺シ充分ニ放血セリ

燻

豫メ大桶ヲ準備シ之ニ華氏一七〇度ノ熱湯ヲ八分目マデ湛ヘ此中ニ懸吊セル屠豚ヲ卸シ豚体ヲ動搖シテ充分ニ全身燻焙セルコト五分乃至七分位ニテ引上ゲ簡易ノ「スクリツパー」ヲ用ヒテ迅速ニ剥毛シ四肢及頭部等剥毛ニ困難ノ部分ハ解剖刀ヲ用ヒテ剃毛セリ

次ニ豚体ヲ懸吊シ清水ヲ注ギテ充分ニ洗滌シ清潔ナル布ニテ拭ヒ解剖刀ヲ用ヒテ解体ス  
今解体成績表ヲ示サンニ左ノ如シ

豚体解体成績表

内 肢 絶 絶 臟 肉 食 食 脂 肪 后 前 量 量 體 體	第 一 號		第 二 號	
	一	二	一	二
	一九、〇〇〇	二六、五〇〇	一八、一〇〇	二二、二〇〇
	一一、九五〇	一七、七六〇	一二、九五〇	一七、七六〇
	二六、七	七三〇		

解体セル豚体ハ冷所ニ懸吊シ二十四時間放温セリ

截切法

(イ)「ハム」ノ截切法

第三腰椎ト第四腰椎トノ間ヲ切斷シ叮嚀ニ整形シテ飛節ノ下部ニ於テ切斷ス

(ロ)「シヨールダー」ノ截切法

第一頸椎ト第二頸椎トノ間及第五背椎ト第六背椎トノ間ヲ切斷シ叮嚀ニ整形セリ

(ハ)「ロールド、ベーコン」ノ截切法

豚体切半体ヨリ「ハム」及「シヨールダー」ヲ採リ肋骨、背椎骨、皮膚及脂肪等ヲ除去シ之ヲ長方形整形シ長背筋ノ部分ヲ内部トシテ巻紙ノ如ク巻キ麻繩ニテ緊付ケ整形ス  
整形体ニハ個々別々ニ名札ヲ附シ重量ヲ記入セリ

鹽 漬

整形セル「ハム」「シヨールダー」及「ロールド、ベーコン」等ハ左記ノ割合ニ配セル鹽ヲ充分ニ内外切斷面ニ塗布シ皮膚面ハ糸瓜ヲ用ヒテ充分ニ擦込ミ食鹽ヲ塗布セルモノハ皮膚面ヲ下ニシテ積ミ重子置キ翌日「ブラシ」ヲ用ヒテ食鹽ヲ拂ヒ落シ此際充分ニ血管内ノ血液ヲ壓出シ新ニ左記ノ配合鹽ヲ塗布シ前日最下層ニ置キタルモノハ最上層ニ積ミ重子此操作ヲ五日間反覆シ然ル後浸漬液ニ浸漬セリ

食 鹽 一、二〇〇匁 白砂糖 四〇〇匁 硝 石 一一二〇匁

浸漬液ノ調製 浸漬液ハ使用前一週間前ニ左記ノ通り配合シテ煮沸シ浸漬桶内ニ於テ濾過シ充分ニ放冷セリ

水	食 鹽	砂 糖	硝 石	タイム、セージ、肉桂、玉胡椒、薑乾
一斗五升	一貫二百匁	二百五十匁	五十匁	各々五匁

浸漬法

鹽漬セル整形体ハ充分ニ食鹽ヲ拂ヒ落シ浸漬桶内ニ皮膚面ヲ下ニシテ積ミ重子其上ニ木梓ヲ置キ浮キ上ラザル程度ニ押石ヲ載セ浸漬液ヲ注ギ掛ケテ浸漬ス而シテ浸漬日數ハ整形体一封度ニ付一日半ノ割合ニ浸漬シ漬換ノ都度最下層ノモノヲ最上層ニ漬シ更ヘル様ニナシ最初三日間ハ毎日換ヲ行ヒ其後ハ五日毎ニ行ヘリ

温浴及乾燥  
「ハム」シヨールダー」及「ロールドベーコン」等ハ浸漬液ヨリ引上ゲ最初華氏七〇度ノ湯中ニ浸漬スルコト一時間此間充分ニ表面ヲ洗滌シテ鹽分ヲ去リ更ニ湯ヲ更新シテ充分ニ洗滌シ更ニ華氏九〇度ノ温湯ニ浸シ乾布ニテ充分ニ水分ヲ拭ヒ空氣ノ流通良好ナル室ニ懸吊シテ乾燥シ適度ニ乾燥セル後燻煙室ニ送り燻煙ス

燻煙室ハ豫メ掃除ヲナシ充分ニ乾燥シ置キ「ハム」「シヨールダー」「ロールドベーコン」等ハ相當ノ距離ヲ置キテ懸吊シ華氏八〇度乃至九〇度ニテ燻煙シ皮膚面ノ美麗ナル赤褐色ヲ呈スルニ至リテ止メタリ

豚肉加工成績表

號名	生體量	生ハム		生シヨールダー	
		生産量	歩合	生産量	歩合
第一號	一八、一〇〇	三、〇〇七	一六、六%	三、四六六	一七、五%
第二號	一三、一〇〇	四、一六一	一七、三%	三、八五〇	一六、五%
計	三一、二〇〇	七、一六八	一七、五%	七、三二六	一七、五%

第六章 衛生

第一項 患畜

畜舎及個体ノ衛生ニ注意セルヲ以テ健康状態一般ニ良好ニシテ僅カニ左記ノ疾病ヲ見タルノミ

種別	種類	性別	年齢	發病年月日	病名	處置	轉歸
牛	ホルスタイン種	牝	五歳	大正一四、四、二一	急性胃腸加答兒	内服薬	全治
			四歳	大正一四、六、二一	急性胃腸加答兒	内服薬	全治
			二歳	大正一四、三、二五	急性胃腸加答兒	内服薬	全治
			二歳	大正一四、四、一六	急性胃腸加答兒	内服薬	全治
豚	ヨークシャー種	牝	三歳	大正一四、六、二五	胃腸加答兒	全	全治
			二歳	大正一四、三、二五	胃腸加答兒	全	全治
			二歳	大正一四、四、一六	胃腸加答兒	全	全治
			二歳	大正一四、七、一〇	胃腸加答兒	全	全治

第二項 家畜病院

地方一般ノ患畜ハ本縣立松江農林學校畜産科生徒ノ實習ヲ兼テ治療ヲ行ヒタリ其成績左ノ如シ

種別	種類	性別	年齢	診察年月日	病名	處置	轉歸	畜主住
牛	ホルスタイン種	牝	五歳	大正一四、四、二一	難産	外科手術	全治	八東郡持田村
			五歳	大正一四、六、一四	胃腸加答兒	内服薬	全	八東郡持田村
			四歳	大正一四、四、一六	胃腸加答兒	内服薬	全	八東郡持田村
			二歳	大正一四、七、一〇	胃腸加答兒	内服薬	全	八東郡持田村
			三歳	大正一四、一、一〇	熱	内服薬	全	八東郡持田村
			五歳	大正一四、一、一〇	熱	内服薬	全	八東郡持田村
			六歳	大正一四、一、一〇	熱	内服薬	全	八東郡持田村
			六歳	大正一四、一、一〇	熱	内服薬	全	八東郡持田村
			六歳	大正一四、一、一〇	熱	内服薬	全	八東郡持田村
			三歳	大正一四、一、一〇	熱	内服薬	全	八東郡持田村
豚	ホルスタイン種	牝	三歳	大正一四、一、一〇	外傷性角膜炎	外用薬	全	八東郡持田村
			六歳	大正一四、一、一〇	食滯	内服薬	全	八東郡持田村
			六歳	大正一四、一、一〇	食滯	内服薬	全	八東郡持田村
			六歳	大正一四、一、一〇	食滯	内服薬	全	八東郡持田村
			六歳	大正一四、一、一〇	食滯	内服薬	全	八東郡持田村
			六歳	大正一四、一、一〇	食滯	内服薬	全	八東郡持田村
			六歳	大正一四、一、一〇	食滯	内服薬	全	八東郡持田村
			六歳	大正一四、一、一〇	食滯	内服薬	全	八東郡持田村
			六歳	大正一四、一、一〇	食滯	内服薬	全	八東郡持田村
			六歳	大正一四、一、一〇	食滯	内服薬	全	八東郡持田村

第二項 養豚

本場ハ縣下養豚ノ増殖並ニ種類ノ改良ヲ圖ラムカ爲メ純粹種豚ノ蕃殖育成ヲ爲シ之ヲ拂下養豚ノ發達ヲ期セムトス而シテ本種ノ獎勵種類ハヨークシャー種パークシャー種ノ二トナス  
種豚ハ常ニ十二頭ヲ設備シ一ケ年二頭宛更新シ近親蕃殖ノ弊ヲ除キ仔豚ハ一ケ年八十頭拂下ノ計畫ナリ

第一種豚現在表

種類	名	號	性	産地	生年
ヨークシャー種	白	雪	牝	東京府北多摩郡立川村	大正十二年四月
	第二	初雪	牝		
	第一	にはとり	牝		
	白	鳥	牝		
	白	はと	牝		
	白	はと	牝		
	白	はと	牝		
	白	はと	牝		
	白	はと	牝		
	白	はと	牝		
パークシャー種	松	とび	牝	東京府北多摩郡立川村	大正十二年四月
	第三	とび	牝		
	第六	はしたか	牝		
	第五	こほろぎ	牝		
	第五	こほろぎ	牝		
	第五	こほろぎ	牝		
計					大正十二年四月 十四年六月 十年三月 十二年一月 全年全月 十二年九月 十三年八月 十三年三月 十四年三月 十年五月 十年十二月

第二種豚生產表

第三種豚拂下頭數郡別表

區分	八東	能義	仁多	飯石	飯川	美濃	露岐	計
ヨークシャー種	一	一	六	一	二	二	二	一三
パークシャー種	三	一	六	一	二	二	二	一六
計	四	二	一二	二	四	四	四	三〇

第四種豚餘勢種付表

區分	八東	能義	仁多	飯石	飯川	美濃	露岐	計
ヨークシャー種	一	一	六	一	二	二	二	一三
パークシャー種	三	一	六	一	二	二	二	一六
計	四	二	一二	二	四	四	四	三〇

第五種豚ノ飼養管理

一、飼養法

豚ノ飼料ハ可成農家ノ副産物及家庭ノ殘滓ヲ以テ副業的養豚飼養ニ近カラシメントス然レドモ副産物等ヲ得難キ場合ハ醬油粕米糖大豆粕穀等ヲ適宜配合シテ用ヒ其他本場生産ノ生草根菜類等ヲ給與セリ

飼料給與表

區分	醬油粕	穀	米	糠	大豆粕	餅粕	殘	飯青	草根菜
牝豚	0.50	0.10	0.10	0.50	0.10	0.00			0.00
牡豚	0.50	0.10	0.10	0.50	0.10	0.00			0.00
仔豚	0.50	0.10	0.10	0.50	0.10	0.00			0.00
仔豚	0.50	0.10	0.10	0.50	0.10	0.00			0.00
附豚	0.50	0.10	0.10	0.50	0.10	0.00			0.00
夏期	0.10	0.30	0.30	0.00	0.50	0.00			0.00

冬 期		
仔 仔 牡 牝	仔 仔 牝 豚	仔 仔 豚 豚
0.10	0.50	0.50
0.10	0.10	0.10
0.10	0.10	0.10
0.10	0.10	0.10
0.10	0.10	0.10
0.10	0.10	0.10
0.10	0.10	0.10
0.10	0.10	0.10
0.10	0.10	0.10

飼料ノ給與

各種飼料ヲ混和シ之レニ水ヲ加ヘ二三時間放置シ粥狀ニ調理シ之レヲ成豚及仔附豚ハ一日三回ニ分配給與シ仔豚ニハ四回ニ分給ス尙副飼料トシテ隔日木炭末及磷酸石灰ヲ混用ス

二、管理

厩舎ニ接續シタル運動場ニ於テ成豚ハ各別ニ牝豚ハ數頭混同シテ自由運動ヲ行ハシム手入ハ藁束又ハ刷毛ヲ以テ全身ヲ梳拭シ夏期天氣晴朗ノ日ハ水浴場ニ追込ミ全身ヲ洗滌ス冬期モ亦晴天ヲ見計ヒ微温湯ヲ以テ全身洗滌ヲ行フ豚舎ハ一日一回掃除ヲナシ藁葉ハ新鮮ナルモノト交換ス尙仔附豚ノモノニアリテハ藁葉ハ五寸ノ長サニ切り敷料トナス而シテ夏期ハ仔附豚ノ外藁葉ヲ給セズ

第三項 家 禽

本場ハ縣下養鶏事業ノ普及發達ヲ期センカ爲メ各種優良種禽ノ繁殖ヲ行ヒ飼養上ニ於ケル各種ノ試験並ニ養鶏經濟ノ摸範ヲ示シ事業經營上各種優良種雞卵ノ生産ヲ行ヒ縣下郡村農會其他團體個人ノ要求ニ應シ適當ノ配布拂下ヲ實施シ經濟的種禽ノ普及繁殖ヲ計ラントス本年度ニ於ケル實施事項次ノ如シ

第一 家禽現在表 (大正十五年三月卅一日現在)

區 分	種 類	二 年 年	三 年 年	四 年 年	計
全 鷄	單冠白色レクホーン種	—	—	—	—
	全褐色レクホーン種	—	—	—	—
全 鴨	黑色ミノルカ種	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
計		—	—	—	—

品 目	種 類	計	單 價	總 額
全 鷄	橫斑アリマスロツク種	—	—	—
	名古屋種	—	—	—
	青銅色吐綫種	—	—	—
全 鴨	白種	—	—	—
	珠白種	—	—	—
計		—	—	—

第二 家禽飼料

一、成禽及雛飼料

(イ) 成禽飼料一例 (百羽ニ對スル一日分)

品 目	計	單 價	總 額
芽出大麥	二升五合	—	—
嫩米糠	一升五合	—	—
下等魚粉末	二升	—	—
乾又魚粉末	百	—	—
計	—	—	—

(ロ) 鷄 (平均十羽ニ對スル一日分)

品 目	計	單 價	總 額
米	三合	—	—
被	三合	—	—
枇	一合	—	—
乾	十一	—	—
計	—	—	—

以上各飼料ト共ニ蔬菜綠草ヲ剉切シ給與ス其他貝殼粉木炭末土砂ヲ鶏舎ノ一隅ニ備ヘ自由ニ攝取セシム

(八) 雛飼料一例

第一期(孵化后十日間)給與飼料

水ニ浸シ一日數回給與

細控シテ一日數回給與

粒狀煮熟卵十羽ニ對シ一日鶏卵一個ノ割合ニテ給與

右ノ外木炭粉、貝殼粉、骨粉、土ヲ自由ニ攝取セシム

第二期(孵化后十一日ヨリ三十日間)雛十羽給與飼料

小麥 貳升

大麥 壹升

上等批 六合

穀 貳升

米 四升

魚粉末 貳百匁

以上各種飼料ヲ一日數回給餌器ニ盛リ自由ニ採食セシム而シテ蔬菜木炭粉貝殼粉ハ第一期飼料ニ同シ

第三家禽產卵調

一、產卵數量

種	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	計
白色レグホーン	二五	二四	二二	一六	一五	一五	一三	一八	一〇	一三	一八	二〇	一九八
褐色レグホーン	一九	一七	一六	一四	一二	一〇	八	九	一三	一〇	一二	一八	一九八

種	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	計
黒色ミノルカ	二六	一九	一七	一四	一三	一〇	九	八	一〇	一〇	一五	一五	一六六
出雲コーナン	二〇	一八	一七	一五	一三	一〇	九	八	一〇	一〇	一五	一五	一六六
横濱プリマスロツク	一八	一七	一五	一三	一〇	九	八	八	一〇	一〇	一五	一五	一六六
名古屋	一四	一三	一二	一〇	九	八	七	七	九	九	一三	一三	一四六
吐名古	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	七	九	九	一三	一三	一四六
珠名古	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	七	九	九	一三	一三	一四六
ベキンドツク	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	七	九	九	一三	一三	一四六
白鷺	九	九	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇

前表ハ本場ニ飼養セル各種各年鶏ヲ通セル一羽平均一ケ年ノ產卵顆數ナリ優良ノ卵用種鶏ニシテ平均產卵數ノ稍々少キノ感アルハ產卵力ノ缺乏セル四年鶏ヲ多數混養セルニ因ル實用養鶏業ニ於テハ四、五年鶏ヲ飼養スルハ大ニ不利益トスル處ナリト雖本場ノ如キ種鶏ヲ目的トスル處ニアリテハ優良系種ハ老鶏ニ至ル迄蕃殖用ニ供スルガ故ニ本表ノ成績ヲ呈セルナリ

二、產卵重量

養鶏事業ノ主ナル收益ハ卵ニアリ卵重量ノ輕重ハ其收利ニ大ナル關係ヲ有ス本場種鶏各種ノ產卵重量左ノ如シ

種	類	初卵重量	產卵后一ヶ月	二ヶ月	一年	三年	五年
單冠白色レグホーン種	種	一三五	一四五	一四五	一四六	一四六	一七〇
單冠褐色レグホーン種	種	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一三五
黒色ミノルカ種	種	一六〇	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇	一三五
横濱プリマスロツク種	種	一三五	一四〇	一四〇	一四〇	一四〇	一三五
名古屋種	種	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三五
出雲コーナン種	種	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三五
吐名古種	種	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三五



珠	六、〇
ベ	一〇、〇
キン	一〇、〇
タ	一〇、〇
ツ	一〇、〇
ク	一〇、〇
鷓	一〇、〇
鷯	一〇、〇
計	九〇、〇

### 第四種禽種卵拂下

#### 一、拂下郡別表

種別	卵	計
松江	八	八
能義	八	八
仁多	六	六
大原	六	六
飯石	一〇	一〇
鏡川	二〇	二〇
安濃	一〇	一〇
瀬摩	一	一
邑智	一	一
那賀	九	九
美濃	七	七
鹿足	一	一
鹽岐	七	七
縣外	六	六
計	二三八	二三八

#### 二、拂下種別表

種別	卵	計
白色レダホ 1種	二 三	五
褐色レダホ 1種	二 三	五
黒色ミノル カ種	三 三	六
名古屋種	七 三	一〇
横斑プリマ スロツプ	一 一	二
吐	一 一	二
綾	一 一	二
北京ダック	一 一	二
ホロ	一 一	二
計	二三八	二三八

### 第三章 圃場

#### 第一項 作付反別

畑地番號	區	分	反	別
第一號地	北	區	一五畝二十二步	
第二號地	南	區	三九畝十八步	
第三號地	北	區	一六畝五步	
第四號地	南	區	一畝三歩	
第五號地	北	區	八畝二十九歩	
計				

全第六號地	全第七號地	全第九號地	全第十號地	計
北區	北區	東區	中區	西區
一畝三歩二十二歩	八畝二十九歩	一畝五歩十三歩	一畝三歩	一畝三歩
六畝	一畝	一畝	一畝	一畝
五畝十八歩	三畝	一畝	一畝	一畝
三畝一畝十四歩七合	二畝	一畝	一畝	一畝
二畝一畝七歩二十一歩				

#### 第二項 栽培牧草種類

- 一、禾本科
    - 第一 芻草類
      - オーチャートグラス、トールオートグラス、チモセーグラス、スプリントセンテッドバーナルグラス
  - 二、荳科
    - 第二 穀菽類
      - レツトクロバー、アルサイククロバー、ルーサン、
  - 燕麥
    - 第三 蔬菜類
      - 大豆 大麥
  - 胡蘿蔔
    - 第三項 一般施肥
      - 甘藍 大芥菜 蕪菁
- 厩肥ヲ基本トシ過燐酸石灰、糞木灰、人糞尿ヲ施用ス施肥量ハ作物ノ種類收穫ノ目的土質等ニ依リ一定セスト雖モ概シテ一反歩ニ對シ厩肥五百貫乃至八百貫勿過燐酸石灰四貫乃至七貫又種油粕六貫等ナ

リトス畜舎ヨリ生スル厩肥ヲ堆積シタルモノニ數回切返シテ行ヒ其腐熟セルモノヲ用フ過燐酸石灰及種油粕ハ他ヨリ購入ス牧草地施肥ノ方法ハ冬期積雪前或ハ農閑ノ際熟肥ヲ圃場ニ追肥シ又第一回(春期)刈取及第三回(晩秋)刈取后堆肥ヲ敷込施肥シ初春水肥(尿腐熟セルモノ)ヲ施用セリ

### 第四項 栽培法

#### 第一 芻草栽培法

##### 一、一般禾本科牧草

#### (一) 耕種法

##### 整地

畑ハ可成の深耕シ能ク土塊ヲ粉碎整地シ作切リヲ深クシテ厩肥ヲ充分ニ鋤キ込ミ土ヲ覆ヒ更ニ土地ヲ平均ナラシム

##### 肥料

元肥トシテ腐熟セル厩肥五百貫匁乃至八百貫匁燐酸肥料三貫匁乃至六貫匁(一反步當)追肥トシテ稀薄牛馬尿百五十貫匁ヲ施用ス

##### 播種期

秋期十月上旬春期四月中  
條播トシ播種ヲ終レハ覆土又ハ藁灰ヲ撒布シテ覆土ニ代ヘ尙ホ腐熟セル厩肥ヲ薄ク覆フ是粘土質土壤ノ覆土厚ケレバ發芽不良ナルニ依ル

##### 播種后ノ管理

翌春二、三回除草ヲ兼テテ中耕ヲ行ヒ稀薄牛馬尿ヲ施用セリ  
二、一般荳科牧草

#### (二) 耕種法

##### 整地

牛耕ニテ土地ヲ縱横ニ耕起再耕シテ土壤ヲ微碎膨軟ナラシメ能ク平均ニ整地シ幅二尺ノ畦ヲ作り之ニ播種セリ

##### 肥料

元肥トシテ一反步藁灰二十貫匁厩肥三百貫匁追肥トシテ藁灰二十貫匁厩肥二百貫匁

##### 播種期

四月上旬又ハ十月上旬

##### 播種量

一反步當五斤乃至七斤

##### 播種法

條撒播ニシテ播種后細分セル熟肥ヲ撒布シテ覆土ヲ爲ス

##### 播種后ノ管理

播種後一、二回除草ヲ行ヒ追肥ハ除草後直ニ施用シテ嫩芽ノ保護伸長ニカム  
三、混播牧草

#### (二) 耕種法

##### 整地

牛耕ニテ土地耕起數回鋤返ヘシヲ行ヒ厩肥ヲ鋤込ミ後チ人耕ヲ以テ土塊ヲ粉碎整地シ幅六尺ノ畦ヲ作ル

##### 肥料

元肥過燐酸石灰七貫匁厩肥六百貫匁追肥稀薄牛馬尿又ハ人糞尿五十貫匁(但一反步當ノ施肥量)

##### 播種期

十月上旬

##### 播種量

一反步當八斤乃至十斤(各種混合種子量)

##### 播種后ノ管理

翌春二、三月ノ初ニ於テ稀薄牛馬尿ヲ施用シ毎秋一回腐熟セル厩肥ヲ粉碎撒布シ追肥スル外中耕除草ヲ行ハス

#### (二) 混播牧草ノ種類別

混播牧草種類名 (甲)		一反步ニ對スル混合種子量	混播牧草種類名 (乙)		一反步ニ對スル混合種子量
オーチャイトグラス	スウキトセントッドバーナルグラス	百八十匁	スウキトセントッドバーナルグラス	五十匁	
チモセীগラス	グレストットツグステール	六十匁	グレストットツグステール	全	
メドーフオツグステール	ハレニアルライグラス	百八十匁	メドーフオツグステール	全	
メドーフエスキュー	クリーピングマンツグラス	百二十匁	クリーピングマンツグラス	全	
スウキトセントッドバーナルグラス	オーチャイトグラス	九十匁	オーチャイトグラス	全	
レッドドロバ		八十四匁		二百匁	

混播牧草種類名 (丙)	一回刈收量	二回刈收量	三回刈收量	四回刈收量	一反歩ニ對スル混合種子量
アルサイククロバ トールオトグラス	三十六 六	レツトクロバ メドーフエスキュー チモセীগラス トールオトグラス	二百四十 五十 百 百二十		二百四十 五十 百 百二十
混播牧草種類名 (丁)					
オーチャードグラス トールオトグラス メドーフエスキュー ペレニアアルライグラス メトーフオツクステール レツトクロバ レツトトツブ	百八十 百二十 百四十五 八十 三十五 二百四十 二百四十	レツトクロバ オーチャードグラス メドーフエスキュー レツトトツブ イタリアンライグラス クリーピングベンドグラス スウキートセンテツトハナナルグラス チモセীগラス	二百 二百 二百 二百 二百 二百 二百 二百		二百 二百 二百 二百 二百 二百 二百 二百

第二 芻草收穫成績表

畑地番號	種 類	播種年月	收 穫				一反歩當 生草收量
			一回刈收量	二回刈收量	三回刈收量	四回刈收量	
二	トールオトグラス	大正 四、一〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	八〇〇	三、八七〇	
二	オーチャードグラス	六、一〇	一、四七〇	一、〇〇〇	七五〇	三、六〇〇	
三	オーチャードグラス	六、一〇	八〇〇	五〇〇	三〇〇	二、一〇〇	
四	混播牧草	四、一〇	一、六〇〇	一、二〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇	
四	トールオトグラス	八、一〇	一、四〇〇	一、〇〇〇	九〇〇	三、五〇〇	
五	トールオトグラス	四、一〇	一、五〇〇	一、一〇〇	〇〇〇	三、五〇〇	
五	オーチャードグラス	八、一〇	一、六〇〇	一、一〇〇	七五〇	二、九〇〇	
六	ホワイトクロバ	四、一〇	一、五〇〇	一、一〇〇	〇〇〇	三、七五〇	
六	オーチャードグラス	四、一〇	九〇〇	〇七〇	〇〇〇	二、二八〇	

路傍(一丁)	種 類	播種年月	收 穫				一反歩當 生草收量
			一回刈收量	二回刈收量	三回刈收量	四回刈收量	
七	混播牧草	四、一〇	一、四〇〇	一、〇〇〇	六〇〇	三、〇〇〇	
七	オーチャードグラス	四、一〇	一、四七〇	一、〇〇〇	三九〇	二、七〇〇	
九	オーチャードグラス	一、一〇	一、四〇〇	一、〇〇〇	三〇〇	二、五〇〇	
一〇	混播牧草	七、一〇	一、四七〇	一、〇〇〇	三〇〇	二、五〇〇	
一〇	ルサン	七、一〇	八〇〇	七五〇	五〇〇	一、九〇〇	

本表中 一、ルサンハ特ニ毎月末ニ刈取ヲ行ヒタリ

二、路傍牧草ハ路側ニ牧草種子ヲ撒布シ自然ノ生育ニ任セ刈取收穫ノ外施肥ヲ爲サス

第三 穀類栽培法

一、燕 麥

(一) 耕種法 整地 耕起後土塊ヲ碎キ平均ニ整地シ作切ヲ深クシテ厩肥ヲ埋メ過燐酸石灰ヲ加用シテ

播種ヲ爲シ覆土ヲ行フ

肥料一反歩ニ對スル施肥量左ノ如シ

肥料名	元	追	肥
堆肥			五〇〇
過燐酸石灰			七〇
牛馬糞			一七〇

畦幅 二尺  
播種期 自十月上旬至十一月中旬  
播種量 一反歩當八升  
播種法 條撒播

中耕及除草 翌年三月初除草ヲ兼テ中耕ヲ行フ  
(一) 青刈燕麥收穫成績

區別	種別	收穫期	一反歩生草收量
六ヶ年平均	バーヒースウエルカム	五月下旬	1,100
七ヶ年平均	ナイヤカラオーツ		1,367
六ヶ年平均	リースホース		994
十一ヶ年平均	改良種		1,110
二ヶ年平均	リコー種		1,110

以上ノ成績ニ據レハ青刈用トシテ改良種リコー種共ニ多收穫ナリ

(一) 耕種法 二、大豆

整地 前作青刈燕麥刈取后牛耕ニテ耕起シテ作切シテ整地ス  
播種期 自五月中旬至六月上旬  
播種 播種后過磷酸石灰及熱肥ヲ撒布シ薄ク覆土ス採種用大豆ハ點播トス  
肥料 過磷酸石灰七貫匁厩肥四百貫匁 (一反歩當)  
生育狀況 各種五月中ニ播種セルモノハ生育良好ニシテ莖葉共ニ肥大シ六月中殊ニ下旬ニ播種セルモノハ生育充分ナラス

(三) 青刈大豆收穫成績

區別	種別	類	一反歩生草收量	全上乾草量	生草十貫匁ニ對スル千草量歩合
四ヶ年平均	青森大豆	一	622	1,770	2,392
七ヶ年平均	早熟三島大豆	一	774	1,785	2,559
九ヶ年平均	晩熟三島大豆	一	236	386	1,622

三、玉蜀黍

(一) 耕種法

整地 春期燕麥及春蔬菜ノ間作ナルヲ以テ整地ハ之ニ從フ  
肥料 一反歩ニ對スル鶏糞五十貫匁厩肥三百貫匁  
播種期 五月上旬  
播種法 點播株間距離一尺  
播種后ノ管理 六月中旬除草ヲ兼テ土寄ヲナス

(二) 收穫成績

種別	收穫期	一反歩實收量	莖葉反歩收量	子實一升ノ重量	品	位置	長
八東在來種	八月下旬	1,100	600	300	中	上	7.6
ホワイトデントコーン	全	1,100	600	300	中	上	7.6

第四 蔬菜類栽培法 栽培種類及收穫量

種別	收穫期	一反歩收穫量
宮重根	十二月中旬	1,100
練馬根	十二月中旬	1,100
方領根	十二月上旬	1,100
蕪菁	全	1,100
時無大	七月下旬	1,100
人參	二月下旬	1,100

(一) 耕種法 一、葉菜

整地

人耕ニテ耕鋤整地シ作切リシテ人糞尿及過燐酸石灰ヲ播種前ニ施シ能ク土ト混和セシメテ其上ニ種子ヲ蒔キ腐熟セル厩肥ヲ覆ヒ薄土セリ

但大芥菜ハ苗ノ移植ヲ行フ

人糞尿三百貫勿厩肥三百貫勿過燐酸石灰六貫勿加用ス

肥料

播種期

春播ハ四月中旬秋播ハ九月中旬

(二) 收穫成績

種	收穫期	一反歩	當收穫量
大芥菜	五月中		一、五〇〇
山東白菜	自十一月至十二月		一、一〇〇
山東結球白菜	全		六〇〇

二、甘藍

(一) 播種法

九月下旬人耕ニテ耕起整地シ幅三尺ノ畦ヲ造リ之ニ播種セリ

移植

整地

第一回移植ハ十二月中旬之ヲ行フ

移植后ノ手入

人耕ニテ深鋤シ后チ細把シテ土塊ヲ碎キ平坦ニ整地ス而シテ左ノ距離ニ畦切リヲナシ最モ深ク溝ヲ設ケ腐熟セル厩肥ヲ敷入レ一旦覆土ヲ爲シ人糞尿ト糞灰トヲ加用シ土ト混和セシメ后チ苗ヲ植フ畦幅二尺二寸株間一尺五寸

生育狀況ヲ見計ヒ時々水肥ヲ與ヘ又下葉汚キヲ行ヒ除草ヲナシ最モ害蟲ノ發生ニ注意シ驅除ヲ行フ

肥料

肥料ノ種類用法左ノ如シ

肥料名	用途	量	元	肥	追	肥
鶏糞ト厩肥トヲ混合シタル堆肥		一五〇		一五〇		
人糞		三〇〇		一五〇		
過燐酸石灰		六		六		

(二) 收穫成績

種	類	收穫期	結球セルモ	一反歩	當收穫量	結球セルモ	歩合
早生甘藍	藍	六月上旬		九三〇		五三〇	六歩
中生甘藍	藍	七月下旬		一、五三〇		一、七一一	九歩

本年栽培セルモノハ苗床並ニ移植后ニ於ケル生育極メテ良好ナリキ

第五項 牧草種子配布

本年度内牧草種子ノ配布拂下セル主ナル種類數量ハ次ノ如シ

種	類	數量	量
燕麥		七	升
オレツト		二	斤
オーチャード		八	斤

第六項 生草貯藏 (エンシレージ) 成績

畜牛冬期ニ於ケル基本飼料トシテエンシレージハ最經濟的飼料ナリトス故ニ本場ニ於テハ數年前貯藏試驗ヲ實施シ既ニ良果ヲ收メタリ大正四年度ニ於テハ更ニ草質其他ノ事情ヲ異ニセル縣下各郡ニ生草埋藏試驗ヲ委托實施シタルニ其成績良好ニシテ今ヤ縣下到處レカ設置ヲ爲サントスルモノ多キニ至レリ

14-21  
251

大正十五年七月二十日印刷  
大正十五年七月二十五日發行

### 島根縣種畜場

松江市片原町七十九番地  
印刷者 布野友太郎  
松江市片原町七十九番地  
印刷所 友社  
電話九十五番

#### 一、生草貯藏(エンシレージ)成績

容番號	種類	生草埋藏量	エンシレージ量	腐敗量	腐敗ニ對スルエンシレージ量割合
第二容	混播牧草	七〇〇	四四〇	一五	六三%
第三容	混播牧草	七五〇	四五〇	一〇	六三%
第四容	青刈燕麥ト混播牧草	七八〇	四九〇	一〇	六三%
第五容	青刈燕麥ト混播牧草	八五〇	五三〇	一八	六三%
計		三〇八〇	一九二〇	五八	六三%

#### 二、エンシレーシ開窖ノ狀況

本年度貯草セル各種ノエンシレージノ狀況ハ次ノ如シ  
 第二、第三窖ハ大正十四年五月十日ニ第一回ヲ續テ五月十六日五月二十三日ノ數回ニ貯藏ヲ爲シ同年十一月十日開窖採出シタルニ品質良好ナリシ  
 第四、第五窖ハ大正十四年五月二十三日ニ第一回ヲ續テ六月一日六月五日ノ數回詰込ミ貯藏ヲ爲セリ開窖ハ大正十五年一月五日埋草ハ頗ル良好ニシテ窖ノ上層腐敗量甚タ僅少ナリシ

9-62

終